

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

支所名	里支所	支所長名	平嶺廣教
-----	-----	------	------

部 局 の 経 営 資 源	当初予算			
	構成人員	職員	嘱託	計
		25人	6人	31人

部局の使命 (組織の存在価値)	<p>里支所の使命は、基本理念「地域力の奏でる都市力の創出」に基づき、「元気な島」、「住みたい島」づくりに向け、きめ細かな行政サービスを提供することである。</p>	組織目標像	<p>【施策の目標像】</p> <p>(1)航路及び情報通信が改善され、多様な交流が活発化している。</p> <p>(2)「元気な島」づくり事業が具現化され、活性化が図られ成果を上げている。</p> <p>(3)自主防災組織等の活動や運営が円滑に進み、「安全・安心な町」としての成果を上げている。</p> <p>(4)交流人口の増加が進み、観光事業の成果を上げている。</p> <p>【組織の目標像】</p> <p>(1)組織全体の活性化が図られ、政策形成能力及び説明責任能力が高められ、質の高い行政サービスが提供されている。</p>
--------------------	--	-------	---

平成20年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標（めざそう値）	具体的な取組内容	進捗状況（年度中間）	年度末の達成状況
本庁及び各支所間の連携協調	一体感醸成事業の提言	・島内全体で実施する事業の検討（ソフト事業）		
	航路開設の達成	・川内甕島間の航路開設に向け意見集約の促進		
	情報格差の是正	・本土及び甕島間ネットワーク増速事業の促進		
組織力向上	職員が一丸となって課題克服に挑戦 （全員参加型の組織経営）	・「報（報告）連（連絡）相（相談）」の徹底 ・課内グループ制の機能化		

部 局 経 営 方 針

平成20年度

薩摩川内市

「元気な島」づくり に向け活性化対策の 検討	各種団体と語る会の実施	・商工会，漁業及び農業関係者，コミュニティ協議会等と語る会を実施し，ニーズ等の把握		
	支所内に活性化方策検討部会の設置と提言	・問題解決に向け，グループ長を部会長に，各課横断的な部会を設置，検討		
定住支援対策の推進	「よかまち・きやんせ定住プラン」のPR	・地区コミュニティ協議会等との連携及び情報発信		
安全・安心な町づくりの推進	自主防災組織の活動支援	・自主防災組織の研修会の開催 ・AED（自動体外式除細動器）の講習会の開催 ・陸上自衛隊の離島展開訓練の見学（里支所管内）		
	西海岸防砂対策の提言	・各自治会との意見交換会の開催 ・関係機関との協議		
共生・協働の推進	地区コミュニティ協議会等との協働及び自立促進	・地区コミュニティ協議会の支援 ・各自治会及び婦人団体等との連携と支援		
交流人口の拡大	参加及び体験型観光の事業実施	・ブルーツーリズム推進体制の支援		
	文化交流の事業の実施	・トンボロ芸術村コンテスト作品募集の促進 ・音の交流事業やワークショップの実施		
広報活動の充実	支所広報誌の発行（年3回）	・「里支所だより」の発行（4月・8月・12月） ・「里地域行事予定」（4ヵ月分）の発行（4月・8月・12月） ・広報編集委員会（各課1名）の設置		
年度中間総括				
年度末総括				

平成20年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

